

# 「エコオフィスプランいばらき（第3版）」の取り組み結果のまとめ ～年度別推移～

項目	取組結果		推移
エネルギー	目標	結果	<p style="font-size: small;">エネルギー使用量の推移</p> <p>CO2換算(その他) CO2換算(電気) 二酸化炭素排出係数(電気) 基準年比増減 目標値</p>
	- 6 % (二酸化炭素換算)	+ 14.4 % (二酸化炭素換算)	
	<p>・エネルギー使用については、平成23年3月の東日本大震災以降、原子力発電の稼働率が著しく低下し、火力発電等の稼働率が増加したことにより、エネルギー使用量の約8割を占める電気の二酸化炭素排出係数が目標設定時点から変化したため、目標未達成となった。しかし、ここ数年は電力不足に対応するため、積極的な節電対策を講じる等、エネルギー使用量削減に取り組んだため、対象項目のほとんどが減量された。</p>		
水道使用量	目標	結果	<p style="font-size: small;">水道使用量の推移</p> <p>使用量 基準年比増減 目標値</p>
	- 8 %	- 8.1 %	
	<p>・水道の使用については、節水コマや大便器の擬音発生装置等の設備改修に加え、節水に対する意識や取り組みが職員に定着してきているため、目標を達成した。</p>		
用紙類使用量	目標	結果	<p style="font-size: small;">用紙類使用量の推移</p> <p>使用量 基準年比増減 目標値</p>
	- 7 %	+ 17.3 %	
	<p>・用紙類の使用に関しては、電子メールや職員ポータル活用の活用により使用量の削減に努めたが、市民ニーズの多様化や大阪府からの権限委譲等により事務量が増加したこと、また、経費削減のため外部印刷していた冊子等を内部印刷に変更したことにより、用紙使用量が増加したため、目標未達成となった。</p>		
ごみの減量化	目標	結果	<p style="font-size: small;">普通ごみ使用量の推移</p> <p>排出量 基準年比増減 目標値</p>
	- 9 %	- 29.2 %	
	<p>・ごみの減量化については、ごみの分別、リサイクル等の取り組みが職員に定着してきていることや、廃棄文書、シュレッダーごみを再資源化する等のごみ減量施策を講じたことにより、目標を達成した。</p>		
温室効果ガス	目標	結果	<p style="font-size: small;">温室効果ガス排出量の推移</p> <p>4種ガス エネルギー使用量 廃棄物処理 基準年比増減 目標値</p>
	- 10 %	- 4.2 %	
	<p>・温室効果ガス排出量については、約7割が環境衛生センターでのごみ処理に伴い排出される。ごみ処理量は経済活動の影響もあり各年度で増減するが、ごみ処理施設の効率的な運転により、燃料となるコークスの使用量が減少したため、ごみ処理に伴う温室効果ガス排出量が減少した。しかし、電気の二酸化炭素排出係数が変化したことにより、エネルギーの使用に伴う二酸化炭素排出量が増加したため、目標は未達成となった。</p>		